
終末期看護論

井上 みゆき 教授
辻 あさみ 教授
服部 園美 教授
檜葉 雅人 講師

3年次前期・必修

1単位・30時間

【概要・目的】

終末期にある人々のQOLの維持・改善、倫理的問題など、ライフステージの特徴をとらえながら、家族を含めた終末期看護の知識・技術・態度について学ぶ。

- 1) 終末期看護の概念について理解する。
- 2) 本科目は、End of lifeにある子どもとその家族に対し、「その子どもらしく生きるため」のケアについて学修する。
- 3) 終末期にある成人期の人とその家族の特徴を理解し、その人らしさを尊重した人生の最期を過ごせるよう支援する看護について学修する。
- 4) 人生の最終段階にある高齢者が、その人らしく人生の最後まで尊厳をもって生きることを支えるケアについて学修する。
- 5) 終末期にある精神疾患をもつ人の状態像やセルフケアの特徴とその看護について学ぶ。

【到達目標】

- ・小児看護学：End of lifeにある子どもとその家族に対し、「その子どもらしく生きるため」のケアについて考察できる。
- ・成人看護学：終末期にある成人期の人とその家族の「その人らしさ」を尊重した人生の最期を過ごせるための看護実践方法について考えることができる。
- ・老年看護学：人生の最終段階にある高齢者が、その人らしく人生の最後まで尊厳をもって生きることを支えるケアについて考察できる。
- ・精神看護学：終末期にある精神疾患をもつ人への看護の知識を修得する。

【内容・スケジュール】

(担 当)

- 1) End of lifeにかかわる概念：
End of lifeとは何か、緩和ケア、意思決定、倫理原則…………… 井上
 - 2) 子どもの死の概念の発達と子ども・家族・医療者の協働意思決定…………… 井上
 - 3) 子どもの緩和ケアに関する事例検討…………… 井上
 - 4～10) 成人看護学における終末期看護…………… 辻
終末期にある成人期の人とその家族の特徴と看護
終末期にある患者・家族の希望を支える看護
告知とインフォームドコンセント
意思決定支援、症状マネジメント、緩和ケア
 - 11～13) 高齢期にある終末期患者の身体心理社会的側面の変化…………… 服部
病院から在宅への移行期におけるケア、高齢者向け施設におけるケア
臨死期のケア・エンゼルケア
 - 14～15) 精神疾患を持つ人の身体合併症と看護…………… 檜葉
精神疾患を持つ人の終末期における問題と看護
-

【評価】

小児：レポート 70%、事前学習課題・講義への参加度 30%、成人：試験 90%、出席状況・参加状況 10%

老年：試験 90%、出席状況・参加状況 10%、精神：試験 90%、出席状況・参加状況 10%

評価責任者：辻あさみ

【教科書】

小笠原和枝編集：エンドオブライフケア看護学 基礎と実践、ヌーヴェルヒロカワ、2018

【推薦参考図書】

講義の中で適宜紹介する。

【その他】

井上 みゆき m-inoue@wakayama-med.ac.jp